



世田谷稲門会

世田谷稲門会会報

平成 21(2009)年 12月 20日

第 42 号

稲門会 一夫彦行子利稔
健邦明秀信尚
世田谷 上島村内子坂川
世田谷 世田谷区松原5-19-4
世田谷 世田谷区吉明
世田谷 世田谷区松原5-19-4
世田谷 世田谷区吉明

事務局 〒156-0043
東京都世田谷区松原5-19-4
東京横田吉明方
TEL/FAX03-3324-7046

青年部会一月に発足 第一回部会を校友サロンで開催

会員数の目標五〇〇人実現の一環として若い世代の入会促進と、会員相互の親睦を図るとともに稲門会活動の活性化を実現することを目的に、世田谷稲門会に青年部を立ち上げることとなりました。

「仕事があっても参加できるようにな会がほしい」「若手でも参加しやすい会がほしい」などの要望にこたえるため、現役世代を対象に平日の夜に年数回青年部会を開催することとしたいと思えます。参加資格は現役で仕事をされている「青年の心を持つ者」で、年齢制限はありません。

現在、役員の皆様の協力を仰ぎながら、発起人四人を中心に第一回青年部会に向けて準備を進めているところです。世田谷稲門会の良き伝統を踏襲しつつも、青年部会ならではの「自由闊達な場」「新鮮な雰囲気」を目指して活動していきたいと考えております。

第一回は、世田谷稲門会メンバーのうち青年部の趣旨に賛同し

昼夜を問わず激務に忙殺されて、世田谷の仲間たちと交流の時間を確保することは容易ではないと思えます。平日ではありませんが、一九時スタートとしましたので、ぜひ青年部にご参加ください。

参加ご希望の方は以下のメールでご連絡ください。
setatou.seinen@gmail.com

第一回青年部会
日時 二二年一月二十九日(金)
一九〜二一時

場所 早稲田大学校友サロン(大隈記念タワー一六階・大隈講堂の通りを挟んで向かい側にある高いビルです)

年会費 なし
発起人 中島史郎(昭五九法) 神谷直希(平成一政経) 薦田 誠(平九法) 西村准也(平成一七商)

新春懇親会

野球評論家 荒川博氏が講演

一月三〇日(土)

こまばエミナース

新春懇親会は一月三〇日(土)午後五時(開場四時)から「こまばエミナース」で開催する。

第一部では王貞治選手などの指導者として知られる野球評論家荒川博氏に「野球よもやま話」と題して講演していただくことになった。

第二部の懇親会では会食を楽しみながら青年部会幹事や新会員の紹介、福引抽選会などの企画を予定している。

また会場では今年も写真部会の会員の作品が展示される。会費は八千円。

荒川博氏プロフィール
昭和五年東京都台東区生れ。昭和二四年早稲田大学商学部に入部、東京六大学野球で活躍。

昭和二八年早大卒業後毎日オリオンズ入団。現役時代は左の巧打者として鳴らした。昭和三六年現役引退。昭和三七年読売ジャイアンツ打撃コーチに就任。昭和四八年ヤクルトアトムズ打撃コーチに就任。昭和四九年ヤクルトアトムズの監督に昇格。コーチ陣に広岡達朗、小森光生、沼澤康

一郎と早大の後輩を配し、早大カルテットと称された。昭和五一年監督辞任。

毎日時代に榎本喜八を指導し、王貞治を少年時代に見出し、母校の早実への進学を薦め、川上哲治監督に請われ巨人の打撃コーチに就任。厳しい指導で荒川道場と呼ばれ、王に一本足打法を指導したことで知られる。現在は日本テニス協会副会長、フリーの野球評論家。少年野球の指導者としても活躍している。



花火を楽しみ納涼会

玉川会が企画運営を担当

今年度の納涼会は八月二二日(土)「せたがやたまたがわ花火大会」と翌日の「多摩川クリー

ン作戦」を玉川会が担当して行った。花火大会には会員・家族・友人など五三名が、クリーン作戦には一三名参加した。当日はお天気に恵まれ夜空に響く独特の音のあと、さらに頭上に降り注ぐかのような華麗な光の競演を参加者全員で楽しんだ。

玉川会がこの企画を実行するに当たっては、先ず花火の見物にはゆつくり座って冷たいビールなどを飲みながら観るために有料席を確保する必要がある。そこで実行委員である「エフエム世田谷」を世話人の山本厚子さんの人脈で紹介してもらい、一般券の発売前に人数分を確保することが出来た。



「クリーン作戦」は参加者が少なかつたのが残念でしたが、玉川会はこれか

らもこのボランティア活動に参加していきますので、今後多くの方が参加されることを望みます。本部からご指名を受けてから企画、準備、当日の手配など多くの時間と労力が掛かりましたが、みなさんのご協力と玉川会のチームワークにより無事責任を果たすことが出来ました。

(玉川会・浜田 康夫/記)

秋晴れのキャンパスで

稲門祭 華やかに開催

今年の稲門祭は絶好の秋晴れに恵まれた一〇月一八日(日)早稲田キャンパスを中心に華やかなイベントが企画された今年

の稲門祭ですが、まず恒例のホームカミングデーの式典が戸山記念会堂で行われ、卒業、二五年、三五年、四五年、五〇年を迎えた校友が会場いっぱいに出席しました。

そして白井総長らの挨拶の後、卒業生を代表して経済など幅広い分野で著名な大前研一氏(四一年理工卒)が学生時代の思い出などを講演し全員で「都の西北」を歌い式典を終えました。

このあとキャンパスでは早稲田スポーツを支えた往年の名選手たちのパレードとオープニングのセレモニーを皮切りに大隈講堂の音楽祭をはじめ各校舎などで多



彩なイベントが繰り広げられ、秋晴れの下大勢の校友や家族などでにぎわいました。

世田谷稲門会は大隈庭園に

恒例の焼き鳥屋台を出店し行列がでるほどのお客さんで賑わっていました。庭園ではジャズ演奏、フラダンスなどが次々に出演、最後にチアリーダーを先頭に応援部のブラスバンドが入場行進して登場す



2009年 稲門祭へ ようこそ!

るころには庭園は校友でいっぱいになりました。

(菊池 吉晏/記)

ホームページが充実しました
 —「世田谷稲門会公式ページのURL登録のお願い」—
 世田谷稲門会の新公式ホームページが完成し、21年秋から次のようなURL
 (ホームページのアドレス)で公開しています。

<http://homepage3.nifty.com/setoupa/>

今のところ、新しいURLのため“世田谷稲門会”のキーワードでヤフーやグーグルなどで検索してもこのURLは表示されません。パソコンご利用の会員の方には、上記のURLを「お気に入り」や「デスクトップ」などに登録していただき公式ホームページ(写真はトップページ)を閲覧されるようお願いいたします。

“世田谷稲門会”のキーワードは、新URLの公式サイト以外にも個人のホームページやブログに広く使用されていることもあって、キーワード検索による表示が遅れているようです。アクセス数の実績も必要ですので、しばらくご不便をおかけしますが、ぜひともURLを登録して閲覧にご協力していただきたいと
 (広報・パソコン部会HP編集委員)



新部会「俳句の会」が発足

十一月九日に開催された幹事会で一三番目の部会として「俳句の会」(代表世話人・江原利次氏)が承認された。(詳細は部会のページに掲載)

『東京都二十三区支部大会』

東京都二十三区支部大会は平成二十二年三月一日(日)午後四時〜八時に開催する。

第一部は大隈小講堂で早稲田大学理工学術院梅津光生教授が「早稲田大学の先進医療への挑戦」の演題で講演を行う。

第二部はリーガロイヤルホテル東京で白井総長を囲んでの懇親会。参加費は一万円。

ブロック会世話人・新規会員勧誘委員会代表情報交換会開催

七ブロックに分かれ活発に活動しているブロック会の世話人・新規会員勧誘委員代表と稲門会代表幹事が二月二日(水)にNHK青山荘で日ごろの活動の情報交換会を行った。

岩上会長、ブロック会担当統括の柏副会長の挨拶の後、各ブロック代表がこれまでの活動内容、今後の予定、本部への要望事項などを報告、他のブロックのこれからの活動に参考になる意見が多々寄せられた。

また今年の大きな方針の一つである新規会員獲得活動もまだブロックごとにはバラつきがあるものの確実に成果が上がってきており、大変参考になる意見も寄せられ、今後の行動の弾みになる情報交換会になった。

「母校の今」は紙面の都合により掲載しました。

部会だより

俳句の会

部会として活動へ

部会活動を充実させてより魅力ある稲門会とするために、さくら会で4年に亘り毎月開催してきた句会も部会の仲間入りをする事になりました。この俳句の会は、高橋悦男先生（当会会員）の指導のもとに、3句ずつ持ち寄って楽しんでいます。俳句は紙と鉛筆があれば、何時でも何処でも四季折々の変化に親しみながら、頭のトレーニングにも役立ちますので、これから俳句を始めたい人の参加を大いに歓迎いたします。

参考までに10月句会での俳句の一部を紹介します

泣き役の笑はせてみる村芝居	悦男
半世紀連れ添ひて見る後の月	好孝
木漏れ日の揺れて木の実の落ちにけり	楊柳

連絡先：江原 利次 TEL/FAX: 5760-7118

メール：toshi@r01.itscom.net



(江原 利次/記)

芸術・芸能鑑賞部会

「いよいよ能・狂言の鑑賞会も」

世界の音楽・芸術、日本の伝統文化・芸能に親しみ、幅広い文化を理解する目的で発足した[芸術芸能鑑賞部会]であるが、発足時23名、1年後32名に増えた会員も10月末にはお蔭様で40名を擁するまでに発展した。発足1年の総会（7月17日）後の鑑賞会案内は既報分を除くと、9月10日に歌舞伎鑑賞会、10月3日の早大ギャラリークラブOB達の「定期演奏会」、10月25日には早大応援部吹奏楽団等による素晴らしい「古関裕而生誕100年記念演奏会」には多数の会員の参加が実現した。「紺碧の空」「長崎の鐘」の大作曲家を偲び、改めてその作品を堪能し、その偉大さを再認識した。

10月中旬の第9回の案内は、いよいよ期待の能・狂言を初めて紹介した。今回は11月～2月の開催イベントを紹介。11月26日に花田玲子さんの「三越劇場ポピュラーハイライト2009」、12月10日「黒川泰子のディナーショー」と、12月14日「池澤美佳のディナーショー」はいずれもシャンソン主体だが、この両人は世田谷稲門会に縁の人。12月19日に「善竹富太郎の狂言会・そろり」を取り上げた。父の十郎氏は早大卒、親子の共演で、富太郎氏は早大で教えている。今年の最後は12月28日の「三越師走寄席」で締める。新年2月8日には「アンサンブルofトウキョウの演奏会」がある。なお、文楽は東京公演が2月・5月・9月であるが、寒さを避けて5月に予定したい。また岡村喬生さんの「冬の旅」は3月28日、希望の多い歌舞伎鑑賞は現時点では2～3月の演目・配役未定のため、新年に改めて案内したい。新入会を歓迎します。ご家族・友人・知人とご一緒に鑑賞会をお楽しみ下さい。



世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治
申込み先：鈴木 TEL/FAX 03-3307-2201

(鈴木 宏治/記)

パソコン

毎月2回（第2、第4火曜日）開催の定例会から部会活動の概要をお知らせいたします。

- ・7月：新HPコンテンツの検討から確定まで。旧HPの公開停止（7/23）。勉強会はワード2007による「案内状の作成」。
- ・8月（定例会は休み）：新HPの立ち上げ作業（ソフトはホームページビルダー13を使用）。
- ・9月：新HP一般公開（9/5）。今後のHP維持管理につき当面会員で分担することを申し合わせ。新入会員「中井氏」紹介。勉強会は7月からの継続。
- ・10月：HP対応として各部会の新情報等協力担当者を選定、及び「編集制作の手順」学習。勉強会は「イラスト・罫線入りの効率的なメモ用紙」の作成、及び教室内無線LAN対応各自パソコンの設定。
- ・11月：定例勉強会は「インターネット」関連について（予定）。19、20日厚木市の丹沢・七沢温泉（玉川館）にて温泉教室を臨時開催（予定）。

(岩城 好宏/記)

ボウリング

引き続き世田谷オークラブオウルにおいて、渋谷稲門会との合同開催を実施。空調設備の良い、広々とした快適な環境の中で、3ゲーム約1時間半の投球を楽しんでおります。最近の実績は次の通りです。

7月12日(日)、参加者9名。(得点130点以上)150点:天野善弘、149点:斎田裕二、142点:佐山順孝。天野、斎田、佐山3氏の実力者によるシーズンゲーム。いずれも、ストライク・スペアを6フレーム以上出している高得点はお見事!!

8月は夏休み。日曜日は家族連れや団体貸切等多く予約とれず止む無く休会。

9月20日(日)、参加者11名。164点:天野善弘、149点:佐山順孝、142点:武藤哲。今日は高橋善一郎夫妻および高橋昌久夫妻の参加を得て和気あいあい、お互い声援を送りながらの賑やかな投球。得点は、天野さんがスピード豊かな投球でストライクのダブルを2回、3スペアを出して快心の高得点。佐山さんも正確な制球力で連続ストライクと3スペアの大健闘。

シニア世代は運動の不足がち。運動不足は所謂生活習慣病になり易いとのこと。ボウリングはこれを解消して健康を増進する最適のスポーツ。初めての方でも気軽に楽しんで出来る運動です。さあ!レッツ・ゴー!ボウリング!!。家族同伴大歓迎。ご参加をお待ちしております。
(武藤 哲/記)

ウォーキング

快適な秋空の下、10月のウォーキングは2回行われ、11日(日)は玉川上水に沿った武蔵野文学散策コースを歩きながら、文学者達の作品に想いをはせる知的な午後を楽しみました。25日(日)の奥多摩動物園巡りは、色々な蝶の飛び交う楽園や昆虫館で驚きの出会いに感動した後、アフリカゾーンのライオン、象、キリンを眺めながらの丘陵コースを散策し、オーストラリアゾーンでは、コアラ、カンガルー、エミューを間近に見て楽しみました。11月8日(日)の隅田川七福神巡りは、浅草雷門から吾妻橋、言問橋、白鬚橋とさかのぼりながら、七福神を訪ねて鐘ヶ淵駅まで一足お先に福を頂戴してきました。勿論、名物の言問団子や桜餅もしっかりと味わいました。(写真は勝海舟の銅像前で)

今後のスケジュールを紹介しますので、ぜひ気軽に参加してみてください。

1月10日(日) 広尾～有栖川記念公園～大使館～暗闇坂～麻布十番～毛利庭園～テレビ朝日～六本木ヒルズ。

このあと新年会を開催。

2月14日(日) 梅祭りの百草園から高幡不動巡りとその周辺の散策

3月14日(日) 江戸と明治の神田界限を訪ねて、御茶ノ水碑～大田姫稲荷神社 ニコライ堂～湯島聖堂～神田明神～レトロ街並～柳森神社

(江原 利次/記)



囲碁将棋

1. 第9回稲穂会囲碁大会。9月27日11時30分より早稲田大学の新学生会館(記念講堂裏)にて第9回稲穂会囲碁大会が華々しく開催されました。本大会は早稲田大学囲碁部の現役並びに東京23区及び三多摩地区の早稲田OBの囲碁愛好家との間で、毎年開かれる恒例の囲碁個人戦大会で、年々参加者が増加しています。今回は各地区からの60のチームが参加して開催されました。試合は、各クラス8名単位のハンデ戦にて、段級でなく、持点を中心に査定を行い、組合せを実施しております。世田谷稲門会囲碁部からは武藤6段を筆頭に6名が参加。組別では、池松6段が優勝を果たしました。他のメンバーも上位に入賞し、面目をほどこした次第です。次回は級位者を含めて参加者を募り、出来るだけ多数で応募したいと思っています。

2. 夏季囲碁入門講座。校友、留学生・在校生で、全く囲碁を知らない人を対象として19路盤を使って独力で終局まで出来るようにする。講座終了後のフォローアップとして、高田馬場にある碁会所に参加できる。こんな催しがこのたび校友会事業委員会主管、早稲田大学囲碁会、同OB会協賛にて行われました。当世田谷稲門会囲碁部でも初めて囲碁を勉強したいという会員が入ればと思いをかけましたが、残念ながら、今回は人が集まらず参加を見送りました。この催しはこれからも続きますので、次回は是非参加いただけるように、ご興味ある方は下記までご連絡下さい。

世田谷稲門会囲碁部代表世話人 矢田廣:電話 03-3700-2500

ファクス 03-3700-1388

3. 第1回全国オール早稲田ネット囲碁祭り。来年校友会創立125周年記念事業として第1回オール早稲田ネット囲碁祭りを開催することになりました。パンダネットの早稲田ルームを利用して対局するのです。お試し無料版の提供も可能です。小生もインターネット対局を週に2回位の割合でやっておりますが、今後増えると思います。
(矢田 廣/記)

カラオケ

9月6日（日）三軒茶屋のカラオケ館にて第40回の部会を行いました。

カラオケ部会も早いもので平成13年発足以来8年が過ぎました。

今回は秋の行楽シーズンのせいか出席者はやや少なく16名でしたが、久しぶりに内藤夫人もお見えになりました。みんな元気よく10曲近く唄いました。

皆様ご承知のごとく世田谷稲門会の最長老・内藤隆福様が7月8日にご逝去されました。内藤様にはカラオケ部会の発足当時から殆ど毎回奥様とご参加いただき、ご高齢にも拘らず新しい歌にも挑戦され、その美声と声量、音程の確かさにはいつも本当に感動し、私達に勇気と希望を与えて下さいました。旅行にも毎年ご参加いただき数々の思い出話を残していただき有難うございました。ご冥福をお祈りいたします。又、いつも付き添って面倒をみておられた奥様にも頭が下がる思いでした。

次回は11月29日（日）三軒茶屋のカラオケ館にて総会を兼ねて例会を行い、22年度の活動方針などを発表する予定です。

(清水 明雄/記)



ゴルフ

平成21年度のゴルフ部会コンペは、4月初旬中津川CCの開幕戦から今期最終戦となった飯能GCにて全日程（4回開催）を無事に終了。今年も天候にも恵まれ全体で177名（昨年度より9名増）の方々が参加されました。本年もシニア、レディスの活躍が光り、一段と楽しく、また熱き戦いを満喫しました。ここに会員皆様のご協力に厚く御礼を申し上げます。今冬も来期初戦に向けオフシーズンを健康に留意され、益々腕を磨くため有意義にお過ごしいただくことを願っております。

今季3戦目となった第60回コンペは9月15日に昨年同様女子プロトーナメントの開催コースとして素晴らしい評価を得ているファイブハンドレッドクラブで開催、肌寒く残暑を感じさせない一日でしたが、最高のグリーン状態のもと47名の参加者がプレーを楽しみました。その結果、各クラスの栄誉ある勝者は次の方々でした。

優賞 総合：真木道子さん、Gシニア：水野義一さん、

シニア：吉村豪介さん、レディス：竹入啓子さん

見事総合優勝された真木さんは「お昼を食べたら別人となったように好スコアが出た」とまさに秋のコメントでした。

今年度最終戦の第61回は11月5日（木）に名門飯能GCにおいて行われました。スタート時点では晴れ、その後は曇り空、少し紅葉が始まった秋の一日でした。40名の方々が優勝を目指しチャンピオンコースをスタートし、次の方々が優勝を飾られました。

優勝 総合：江原利次さん、Gシニア：平井恒夫さん、

シニア：守屋寧夫さん、レディス：犀川千代子さん

競技終了後のパーティーでは、表彰、優勝者・初参加者のスピーチ等賑やかな納めの会となりました。来シーズンのコンペ日程は、12月の世話人会において協議決定し、皆様にお伝えする予定です。最後に森世話人代表より世田谷三田会との交流開始につき、第1回はゴルフを通じたものとなる旨報告がありました。

(熊谷 慶紀/記)



左から吉村豪介さん、竹入啓子さん、真木道子さん、水野義一さん
9月5日コンペの優勝者



左から平井恒夫さん、犀川千代子さん、江原利次さん、守屋寧夫さん
11月5日コンペの優勝者

スポーツ観戦

10月31日（土）、快晴の神宮球場に連勝すれば3シーズンぶりに優勝のかかる早慶1回戦を35名が参加して観戦しました。試合は慶応・中林投手の好投の前に早大打線が沈黙し優勝に待ったをかけられた一戦でした。スコアは2：11という、かつて経験のない大敗でした。エース斉藤が4回に3点を先取されたのも意外でしたが、定評のある強力投手陣の中リリーフした3投手が打ち込まれたのも初めてのことでした。

翌11月1日（日）の第2戦も敗れ、その結果秋季リーグは明大が3シーズンぶりに優勝したシリーズで残念な限りでした。優勝を逃がした早稲田には来季の奮起と優勝奪還が望まれます。近年、特に昨年来慶応、明治、法政、立教等他校の強化策は著しいものがあり、早稲田の一段の強化と努力が必要です。

次はラグビーです。10月末現在全勝（3勝）の早稲田は残す早慶戦と早明戦（12月6日、国立）の2試合を控えており、連勝すれば対抗戦グループ優勝が決まります。期待を込めて応援しましょう。

(岸田 正和/記)



食 べ 歩 き

(1) 9月25日、第41回例会を開催。参加者34名。表参道ヒルズ「MIYASITA」で柏良子さんの司会で会は進められた。1921年パリのシャンゼリゼ通りを模して約1kmに亘り植樹された樺並木の深緑を窓外に眺めながら静寂な雰囲気の中初参加者の紹介の後、大須賀肇代表世話人の挨拶と会務報告があり、その中で平成20年度当部会の事業報告、会計報告、監査報告の提案を行い満場一致で承認された。鈴木宏治氏の乾杯発声で開宴。フランス・モンサンミシエルのムール貝の白ワイン蒸しを始め国内外の高級食材を使った洋食コース料理を堪能、ワインの美味に酔い歓談は弾み、場の雰囲気は最高に盛り上がった。出席者より話題提供相次ぎあつという間に閉会時刻となり、荘司真恵さんの閉会挨拶で散会。各自ヒルズ内スパイラルスロープに面した店舗や新潟県物産館ネスパス等の散策やショッピングを楽しんだ。



(2) 当部会内規第5項による有志の会「東京競馬観戦の会」

4月26日参加者40名で開催。東京競馬場（府中）のフジビュースタンド貴賓室で昼食会と競馬観戦会を行った。柏良子副会長の司会で進行。大須賀肇代表世話人の挨拶の後、岩上健一会長の乾杯発声で始まった。各テーブル毎に会話が弾み情報交換や世相の話題等で賑わい大いに盛り上がった。続く観戦会では各レース発走と共に勝敗の帰趨や如何にと手に汗を握りつつ観戦、高揚した臨場感を満喫した。眼前の多摩丘陵の新緑は目に眩しく遥か南西方には箱根の山々や丹沢山塊の山並みが連なり、稜線の彼方に冠雪を戴く霊峰富士山の容姿が澄み渡る青空に映えて素晴らしい眺望であった。この最高の雰囲気の中、各々ひとときを楽しみ16時過ぎ散会した。



(大須賀 肇/記)

麻 雀

1. 7月12日(日)、快晴の正午、祖師谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」（以下会場は三区親善麻雀大会を除き同一）に28名の紳士淑女が集い、気温をはるかに上廻る熱気の下、腕と運を競った。試合は初回大量得点を競い合った山本、橋本、磯田、河村（卓）4氏が最終回まで譲らず纏れたが、最終回の失点を最少に押さえた山本氏が猛追する3氏をタッチの差で下し、初優勝を遂げた。優勝：山本英親、準優勝：河村卓郎、3位：磯田稔、4位：上保幸夫、5位：阿部信之、6位：橋本大道

2. 8月22日(土)、三区親善麻雀大会を弊部主催、渋谷の麻雀荘「スリーハンドレッド」で計28名参加のもと開催した。弊部から10名参加し、以下の方々が入賞した。5位：橋本大道、6位：上保幸夫、9位：河村卓郎、10位：小河原泰、11位：小山康彦

3. 9月13日(日)、大田稲門会麻雀部より4名御参加いただき計25名の善男善女が集まり優勝を競った。優勝は2回戦を終えた時点で池田、桃井、小河原3氏に絞られ激しいデッドヒートとなったが、最終回39点を叩き出した池田氏が僅差で今年2度目の優勝を飾った。優勝：池田良夫、準優勝：桃井清治、3位：小河原泰、4位：高橋毅、5位：脇坂元彦、6位：河村卓郎

4. 10月17日(土)、絶好の行楽日和にもかかわらず24名の麻雀愛好家が集い腕と口と運を駆使して優勝を目指した。試合は2回戦迄マイナスに苦しんだ長谷川氏が先行する21名の雀鬼達を牛蒡抜きにしてタッチの差で初優勝した。優勝：長谷川義樹、準優勝：高橋毅、3位：磯田稔、4位：小河原泰、5位：吉村登喜子、6位：阿部信之

5. 10月24日(土)、三区親善麻雀大会を目黒稲門会麻雀部主催、渋谷で開催した。計24名、当部からは9名参加し、以下の方々が入賞した。準優勝：田島功統、4位：池田良夫、5位：脇坂元彦、10位：草野昭次。尚、勝馬投票券については適中者3名全員が当部員となり麻雀以外でも勝負強いことを出席者全員にアピールするというおまけまでついた。

(下谷内 堯/記)

釣 り

当釣り部に最近他稲門会からの入部が増え、総勢35名となった。沖釣りだけでなく、河湖の釣りも増えている。

7月18日 江戸川妙典佐野遊船の棧橋でのハゼ釣り。5名参加し、時期早々の為小型ながら入れ喰いを楽しむ。

7月26日 松輪沖ヘムギイカ釣りを間口港喜平治丸より乗合出船。5名参加。喰い悪くトップ6匹の不漁。余りの貧漁の為か船代500円引きの8,000円。

8月1日 ハゼ岡釣りに6名参加。型の良いのが出る千葉湊川へ竿出すも満潮になっても喰い悪く、木更津港へ転戦。船着場で小型ながら入れ喰いとなる。魚影が濃い。

8月16日 江戸川佐野遊船棧橋でハゼ釣り。近堂、川尻氏各130匹を釣る。当分釣れ続く見通し。

8月23日 金沢八景黒川より仕立船でキス、イシモチ釣り。キスは各50匹位、イシモチはトップ11匹。久しぶりの東京湾の小物釣りを楽しんだ。

9月6日 久里浜ツツ六よりワラサ釣り。久しぶりに海洋写真家の中村庸夫氏日本滞在の為参加。ワラサ1匹。

9月16日 江戸川佐野遊船よりハゼ棧橋釣り。10時半に大雨に降られ散会。それでも近堂氏71匹。柴田、清水京浜運河なぎさ湾に転戦し、11~20cmの型の良いハゼを24匹釣る。大型は20cm有り、周りの釣り人も驚いた。

9月26日 北浦の細で秋の小鯛釣り。4名。近堂氏が28匹。

9月27日 相模湾イナダ釣り。茅ヶ崎港沖右エ門丸より逗子沖へ。9名参加の為乗合となり、40名乗せられ、お祭り引切りなし。国澤、金子氏共18匹宛。40cm前後。

10月10日 北浦秋の小鯛釣り。近堂、柴田2名参加。近堂氏が41匹。

10月25日 間口港利一丸より松輪沖ワラサ釣り。7名参加。終日雨に降られた悪天候の中、ベテラン国澤、金子氏共に3匹宛。他の方1匹宛。70cm前後に大きくなってきており、大変に美味。西尾氏73cm、3.2kgの真鯛を釣る(写真)。

(今後の予定)

12月23日 シーバスルアー釣り。東京湾浦安吉野家。

平成22年

1月12日 釣り部新年会。銀座魚や一丁。会費3,000円。

1月31日 ヤリイカ釣り。間口港喜平治丸。

2月21日 ヤリイカ釣り。間口港喜平治丸。

3月27日 カレイ釣り。六郷ミナミ船宿より仕立船。

(柴田 昇/記)



ブロック会だより

玉 川

【総会】7月5日(日)、玉川会総会を開催しました。今年は総会に先立って奥沢東地区会館で映画「ラストゲーム」(最後の早慶戦)の観賞会を開きました。太平洋戦争が風雲急を告げつつあった昭和18年10月16日に戸塚球場(後の安部球場)で行われた我が国野球史に残る伝説のゲームを映画化したもので、昨年公開された時には大きな反響を呼んだ作品です。16名が参加し約1時間半の上映でしたが、会場の冷房の故障というアクシデントにもめげず、皆さん熱心に鑑賞しました。非常に感動的な内容で、思わず涙している方もいらっしゃいました。その後会場を奥沢の「レストラン 木畑亭」に移し、21名が参加して総会と懇親会を開催。本部から柏副会長と横田事務局長にもご出席頂き、お二人のご挨拶に続き、平成20年度活動・決算報告、21年度活動計画発表、役員改選が型通り行われた後、懇親会に入りました。美味しい料理とワインを楽しみながら会員のスピーチ等も交えて大いに盛り上がりました。(太田 隆/記)

【カラオケを楽しむ会】玉川会の「カラオケを楽しむ会」を9月26日(土)、恒例の大田区田園調布の「ラマンチャ」で開催。カラオケに先立ち会場と同じ建物内にある「おおたにや」(そば屋)で簡単な「昼食会」を開きました。「ラマンチャ」は30名位入れる舞台付きの会場で、マイクは女性用と男性用2本が用意されており、マスターに頼めば本人に合わせた音量音質調節等も可能。従来は15~16名集ったのですが、今回は会員6名、奥様2名、幹事大内氏友人1名の9名と人数が少なかった分3時間20分のカラオケ歌い放題。ソフトドリンク・焼酎系はお代わり自由、軽なおつまみ付きで通常は一人4~5曲ですが、今回は6~7曲ずつ熱唱、奥様方のカラオケ教室仕込みの素晴らしい美声も堪能させて頂きました。ちなみに会費は一人2,000円でした。



(酒井 宏晏/記)

西 北

- (1) 例会 7月24日(金)17時から第18回西北会をいつもの参宮橋「新日鉄代々木倶楽部」にて開催。参加者19名。今回は横田吉明氏(昭38年商)より「戦後の日本の地価の動き」と題してお話しして頂きました。地価あれこれ、戦後の高度成長と地価の動き、バブル崩壊、更には最近の地価の動き、都内のマンション動向等々さすがに大手ゼネコンの役員をさせていただきに中身が濃く、大変興味深く何う事が出来ました。その後倶楽部の美味しい料理とお酒で賑やかに懇親会を催しました。
- (2) 西北雀会 毎月第4木曜日12時30分より下北沢の雀荘にて開催しております。次回は11月26日(木)、12月は24日(木)です。他ブロックの方も歓迎です。ご希望の方は幹事桃井清治氏、熊本昭二夫人迄。
- (3) 西北ゴルフ会 晴天に恵まれた10月22日(木)名門日高カントリー倶楽部にて2組で開催しました。次回又ご案内を差し上げますので振るってご参加下さい。

今後の予定

例会 12月1日(火)18時より参宮橋「新日鉄代々木倶楽部」にて開催。

岩村明彦氏(昭39年政経)「回想のプラハ」-社会主義下の生活-と題して講演、その後懇親会。

初詣 恒例の初詣をいつもの代沢の北澤八幡神社にて来年1月8日(金)頃を予定しております。詳しくは後日ご案内を差し上げます。(松浦 晋三郎/記)

キャロット

来年(2010年)4月4日(日)午後2時から、キャロット会主催、世田谷稲門会後援で第2回稲門寄席を三軒茶屋キャロットタワー1階の「シアターラム」で開催します。今回は、柳家初花、柳家甚語楼、柳家小菊、桃月庵白酒の4名の早稲田大学に在籍された方に出演していただきます。初花、甚語楼、白酒は将来を期待されている若手噺家です。面白いことは請合います。小菊お姐さんは三味線を爪弾いての粹曲です。寄席情緒を楽しんで下さい。寄席では時間が限られていますが、今回はたっぷり時間をとりました。

大阪の桂米朝が文化勲章を受章しました。めでたいことです。噺家(落語家とも云う)は東京に約400人、大阪に200人いるそうです。今、ブームと言われておりますが、売れているのはごく一部の方です。ぜひ、早大出身の芸人を応援していただきたくお願い申し上げます。(富塚 兆弥/記)



さくら

第19回さくら会を以下の通り開催。

開催日：平成21年10月4日(日) 16:30~19:00

場所：桜新町、サザエさん通り 和食主体の『Shin-和』

参加者：総勢 25名

会場をイタリアレストランから和食に変えての初会合で、会場を借り切った開催です。参加者は総勢25名に増加、特に女性の参加者が6名に増えて盛況でした。また久しぶりで本部より岩上会長を迎えての会合でした。

- 1. さくら会の中での新規会員募集の作業状況は下記の通り。

新規会員募集の世話人：代表世話人矢田 廣、事務局長世話人江原利次

世話人 岩城好宏、飯島勲 弦巻及び新町地区

中瀬正一、田中勝 桜新町及び深沢地区

亀山寿夫、佐々睦子 上用賀及び上用賀地区

募集世話人8名で発足。数回の会合を重ね、募集要項の不足もあり時間がかかったが、その後本部の協力も得てようやく発送にこぎつけました。

新町 45名 弦巻 112名 小計 157名

桜新町 20名 深沢 60名 小計 80名

上用賀 19名 上用賀 27名 小計 46名

合計 283名

- 2. 『わが人生を語ろう』 今回は井山庄司氏にお話をお願い致しました。氏は昭和42年に早稲田大学政経学部を卒業後東洋工業(現マツダ)に就職され、企業人として活躍、51歳のとき病に倒れたのをきっかけに、仏像彫刻と絵画の道に入られ、特に絵画の分野で国展連続3回の入選を果たされました。絵と仏像彫刻の分野で何回か個展も開かれており、お寺から『庄念』という法名を授けられておられます。その後、売るつもりがなかった絵と仏像彫刻が見る人に感動を与えて売れるようになりました。また彫刻にも造詣が深く、現在都内3箇所のカルチャー教室で講師を勤められておられます。

(矢田 廣/記)

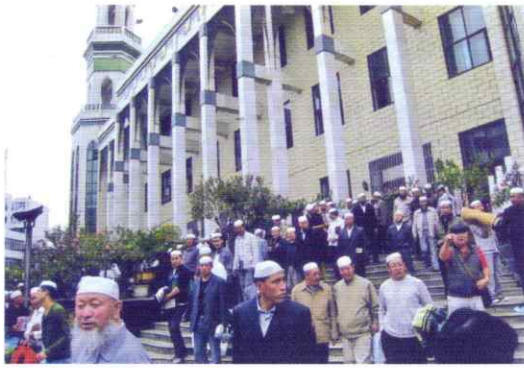
会員のひろば

天空のチベットと青蔵鉄道体験の旅

薄井 好雄(昭四七年商)



八月一六日(日)から八月二三日(日)までの日程で、東京都日中友好協会主催による「天空のチベットと青蔵鉄道体験の旅」に行つてまいりました。団員三二名の大勢(团长は世田谷稲門会会員で東京都日中友好協会常務理事の水



島豊さん)で、午前九時に成田を出発し、北京経由で成都に行き、到着後広島・四川中日友好協会を見学し、夜は四川省対友協主催の歓迎会を開催して頂き、四川料理に舌つづみをうちました。当日は岷山飯店に宿泊しました。

八月一九日(水)は、朝食後ポタラ宮に向けて出発する。何人かが高山病にかかっていましたが、全員でポタラ宮を見学することができました。宮殿内には歴代ダライラマの黄金の霊塔・仏殿などがあり、

に参拝し、五体投地の修行をみることもできました。去年のチベット騒動の影響か、人民軍が五〇メロおきぐらいに立っていて、警戒をしていました。次の日は三時四五分の早朝に起床した。いよいよ念願の青蔵鉄道に乗る日だ。朝

八月一七日(月)、午前中杜甫草堂の広い構内をゆつくりと見学し、その後成都からラサ行きの飛行機に乗って二時間ちよつとでラサに着きました。

ラサは標高三六〇〇メートルくらいあり、ラサに着くなり、高山病にならないように映画のスローモーションのようにゆつくりと行動しました。ホテルに着いてからもゆつくりとくつろぎ明日に備えました。

次の日は午前中にノルブリンカ(写真中・歴代ダライラマの夏の離宮で世界遺産に登録)を見学し、そのあと西蔵博物館をみてまわる。そして問答修行で有名なセラ寺(写真下)をみる。若い大勢の修行僧がグループを作って問答修行する様子を見る。夜は西蔵賓館でチベット自治区対友協主催の歓迎会を開いて頂きました。



荘厳ないにしえの栄華をしのぶことができました。特にダライラマ五世の霊塔は一五トンの黄金と一五〇〇個の宝石が使用されているとのことでした。その後大昭寺(ジョカン寺)

点(五〇六八メートル)の記念碑をみることもできました。列車内は気圧が調整されていて、全く高山病に無縁の世界で、食堂車内で昼食・夕食時にはおいしいビールを飲むことが

まっくらなうちにラサ駅に着き、列車に乗るために並んでいるのには、大変驚きました。一両が八室あり、一室四人の定員で、全員一等軟臥車に乗ることができました。七時三五分にラサ駅を出発して、約二五時間列車に乗って西寧に到着の予定である。列車が動いてしばらくすると、車窓から高い山々や平原、そしてヤクの群れがみえる。途中、湖としては最高地点(四五九四メートル)にある錯那湖(ツオナ湖)を左手に見ながら通過し、さらにしばらくして、鉄道世界最高地点(五〇六八メートル)の記念碑をみることもできました。列車内は気圧が調整されていて、全く高山病に無縁の世界で、食堂車内で昼食・夕食時にはおいしいビールを飲むことが

できました。

八月二一日(金)、朝七時四〇分に西寧に着き、北禅寺、青海省博物館を見学しました。イスラム料理の昼食を食べた後、イスラム教のモスク・東関清真寺(写真上)をみました。当日は礼拝日にあたり、白い帽子をかぶったイスラム教徒で町があふれていました。

八月二二日(土)は、天安门広場、故宮を散策し、そのあと万里の長城の八達嶺の女坂をのぼり、皆から雄大な眺めを満喫しました。夜、北京中日友好協会主催の歓迎会を開いて頂き、次の日全員無事で帰国することができました。



内藤隆福先輩を偲んで

ボールがどこのか分からない」と言いながら、たいいていツーパットで収めてしまう。

土倉亨一（昭三四政経）
（世田谷稲門会前会長）



歴史任された。精密機械技術の医療機器開発分野への展開など、国際的な製品化や、カメラ、顕微鏡の品質向上と秩序ある輸出振興のために業界の指導的役割を果たされた。

趣味といえば、少年のころから寺の境内で手製のクラブを振っていたというゴルフは草分け的な存在だった。世田

キャディをからかって笑いをくすぐり喜ばせる。歳の功、長に立つ人はさすがに人使いがうまいと評する人もいたが、怒鳴りつけたこともあった。プレー中にキャディがカートを動かして先に行ってしまったときのこと。「カートは置いていけ。自分が運転する」と言い張ってきかない。夫人が「本気なんですよ」と懸命に止めた。

定時総会に娃子夫人とともに出席されて花束贈呈を受けた日満面の笑顔の思い出す。



谷稲門会ゴルフ部会を創立し九〇歳を超えても夫人同伴でコンペに参加された。短い距離

一昨年五月の百二歳の誕生日パーティーでは仏教の声明で鍛えたという声でカラオケを披露。一曲ごとに調子が上がったり拍手を浴びた。東京・用賀の真福寺正住職でもあり「沙羅双樹の香り」など仏教関係や古今に造詣の深い著作も多数残されている。

内藤家・オリンパスの合同葬儀で頂いた略歴の中に「仏家として和を尚（とうと）ぶことを信条とし、企業経営においても実践した」とある。

世田谷稲門会のみならず、早稲田校友の至宝であった。

明治

三八年五月一五日に東京・世田谷の医王寺に生を享けて仏法修行、昭和六年に早稲田大

でもウッドを手にするが多かった。「アイアンでなくともフェースの角度を変えればいい」「眼科医が手術を間違ったから片目は見えないんだ。

平成二十一年十一月記

部 会 一 覧

部会名	代表世話人	連絡先	
俳句の会	江原 利次	TEL/FAX 5760-7118	月1回 年会費10,000円
ゴルフ	森 昌治	TEL/FAX 3414-6219	年4回 コンペ・年会費2,000円
スポーツ観戦	岸田 正和	TEL/FAX 3704-2642	春秋早慶戦応援他・年会費1,000円
麻雀	下谷内 堯	TEL/FAX 3789-1824	月1回 大会・年会費1,000円
ボーリング	武藤 哲	TEL/FAX 3302-2607	月1回 大会・オオクラボウルで
釣り	柴田 昇	TEL3700-1290 FAX3567-3318	溪流釣り・船沖釣り年会費1,000円
食べ歩き	大須賀 肇	TEL/FAX 3309-0688	年4回例会・年会費1,000円
カラオケ	清水 明雄	TEL/FAX 3421-2624	年5回例会・年会費1,000円
囲碁・将棋	矢田 廣	TEL3700-1378 FAX3700-1388	年4回例会・対外試合2回
ウォーキング	江原 利次	TEL/FAX 5760-7118	月1回例会・年会費1,000円
写真	種谷 鴻成	TEL/FAX 5433-7052	年6回例会・年会費1,000円
パソコン	岩城 好宏	TEL 3425-5438 FAX3425-5439	原則月2回・年会費1,000円
芸術芸能鑑賞	鈴木 宏治	TEL/FAX 3307-2201	通信費1,000円

新入会・退会・住所変更等のお知らせ

名簿〔平成21年3月発行〕および会報41号〔平成21年8月発行〕以降

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話	FAX
個人情報につき不掲載					
畔上 孝夫	昭47 商				
天野 泰久	昭43 政経				
池田 正敏	昭41 文				
倉田 豊	昭43 商				
小山 俊次	昭33 商				
田口 正之	昭43 法				
鳥海 博子	昭26 法				
中井 盛久	昭34 政経				
西野 哲夫	昭41 政経				
野生司祐宏	昭50 文				
御園生 勇	昭43 理工				
宮澤 次郎	昭36 政経				
世良 幹夫	昭46 商				
海上 清夫	昭38 法				
中馬 勇	昭36 法				
前川ミヨ子	昭42 文				
後藤 孝雄	昭34 商				
薦田 誠	平09 法				
小口 浩一	昭45 法				
松下 忠史	昭35 理工				
戸田 昇	昭47 政経				
村上 謙三	昭42 理工				
山崎 輝雄	昭39 理工				
塚脇 一帆	昭47 商				
岡本 治基	昭44 理工				
松尾 守	昭35 文				
中村 一男	昭36 商				
奥野 裕	昭33 商				

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由
内藤 隆福	昭6 理工	
柴山 哲男	昭34 理工	
岩隈 興和	昭43 教育	
下川 光二	昭33 商	

今年度の重点活動として岩上会長が総会で宣言した新規会員獲得キャンペーンは、寺島常任幹事担当のもとで各プロジェクトにお願しい活動がスタートしています。少ない活動予算にもかかわらず、各プロ

事務局だより (第五回)

何かお役にたてることがあればと、このたび会報編集のお手伝いをさせて頂くことになりました。
編集に関しては全くの素人ですが、諸先輩のご指導を仰ぎ、お役に立てるように頑張ります。



新編集委員紹介
小川 稔 昭四五年理工

ックで代表はじめ委員の方々が様々な工夫をされ、成果が着々と上がり始めております(会報の新入会員のお知らせご参照ください)。
ブロック代表・委員の皆さんの日々のご苦勞に感謝申し上げますとともに、更なる活動をよろしくお願い申し上げます。事務局一同できる限りの支援をしたいと思っておりますので、何なりとご相談ください。また青年部会の発足に加え、俳句の会もスタートします。ぜひご参加いただき、交流の成果をあげていただきたいと思います。

今年度の主な行事も来春一月三十日(土)の新春懇親会を残すだけとなりました。多数の皆様さまのご参加をお待ちしております。

(横田 吉明/記)

